

# 回想法の夕べ一劇・7月号

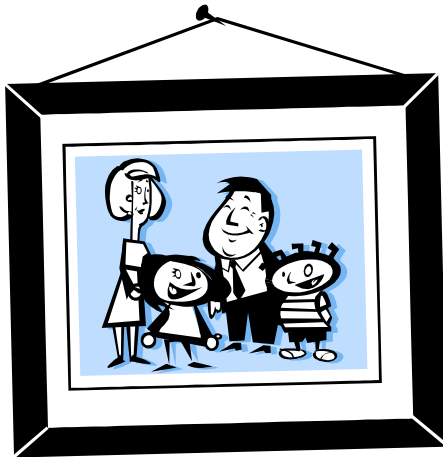
平成24年 6月30日発行  
発行 龍ヶ崎市回想法センター  
龍ヶ崎市平台5-9-7  
電話・FAX 0297-65-4443  
e-mail: pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp  
h p: www16.ocn.ne.jp/~piakaiso

## 楽しくに暮らしたいです

### 人生で大切な物は何？

臨終の言葉では文豪ゲーテの「光を。もっと光を」が有名ですが、ゲーテは、その光で何を見たかったのでしょうか？一説には、愛しい彼女といわれています。

末期の親を病院に見舞った時、親は寝ていたが、その顔は、ニヤニヤとなにやら楽しい夢を見ている様子だった。「どないした」と声をかけると「今な、芸者と遊んどった夢を見ていた」と、慣れ親しんでいた芸者の名前がぽんぽんと出てきたという話を聞いたことがあります。叱られ続けた奥様はすでに先立たれ、お父様は、心底から芸者遊びを堪能していた様子が見えるようです。



食事が出来なくなっても、足腰が立たなくなっても、思い出だけは頭に浮かび、そして人を幸せにしてくれる。人生でもっとも大切な物は「楽しい思い出」では？

この世からあの世に持ってゆけるのは、お金や名誉や肩書きでもなく、子どものころからの楽しい思い出ではないだろうか。私たちも、持ち切れないほど沢山の思い出を抱えて旅立てるよう、ぬかりなく準備をしたいものですね。

### 笑顔が戻ることを

お互い、かばい合い、いたわり合い、気遣い合いながら日々を送っていらっしゃる老老世帯では、どちらかが体調を崩されると、生活の歯車が一気に狂ってしまいますね。

田舎で暮らす年老いた両親の介護に田舎に帰る機会が増えてきたと話していた友達も、お母さんが入院したとたん、お父さんが自宅での生活に問題が出てしまいました。



幸いにも、病院のほうで、二人一緒に入院させていただいたので本当に助かったと話していました。

回想法の仲間も、体調を崩して入院したとたん、奥様の認知症が進んでしまいました。友人曰く「施設に入れてしまえばいいんだけど、そんなことはできないよ。一緒にここまで暮らしてきたんだよ。どんなことがあっても、ここで一緒に暮らしたい」と、友人は、自宅でのリハビリを選んで退院してきました。

どんなにいい介護を受けても家族に勝るものはないですよ。どんないい施設でも自宅に勝るものはありませんね。お二人に笑顔が戻ることを祈るばかりです。

### 7月の予定

回想ガイド活動は、6日（金）、20日（金）

昔の遊び体験教室は、28日（土）、田んぼの草取り

開催場所は、歴史民俗資料館開催時間は、13時30分～15時30分です